

文書館通信



17号

東御市文書館
令和5年
2月 発行

☎ 文書館直通 0268-67-3312
東御市教育委員会文化財係直通 0268-75-2717
✉ メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp

今年、東御市滋野地区原口にある縄文時代の成立（いんだて）遺跡が国指定になって、90周年の節目の年にあたります。そこで、今月号は成立石器時代遺跡の特集です。東御市にしかない貴重な文献史料の内容も交えて、詳しくご紹介します。

昭和5年4月5日
信濃毎日新聞記事

・夕刊の記事で、成立遺跡の発見が報道されると、それを読んだ多くの人が翌日より、発掘調査現場に訪れました。

存方を願ひ出る筈で更に六日帝大考古学教室入橋一郎氏を聘して詳細なる調査を乞ふ事になつた

右大

遺跡は面積約四十坪正面は直線をなし三方は随圓形となつてゐる然して入口には飛び石もあり正門の傍にはくぐりもある等門の構へは今日の様式の如くで實に堂々たるものであるも尙部屋の中央には竈がありその兩側には鉄平石を敷いて座敷を形どり

奥に

は貯蔵庫を置しきものさへあり又獨立柱を樹てたあしも見受けられ無数の土器の破片墜敷石斧数個、叩き石二三個も掘出されたも尙附近には同様の遺跡二三が存してゐる様である

豪華な遺蹟

飛石やククリ門まで揃ふ

小縣滋野で発掘す

「上田電話」上小教育部の柳澤平助氏外委員數氏は三日小縣郡滋野村字原口へ出張區長大村國二氏外青年會員二十數名の援助を得て同村天聖寺所有土地の發掘作業をなし遂に完全なる先史時代の住居

學界

に發表を見て居ないので日本考古學界に貢獻する事多大で教育會では直に任職と評解が成つたので天然記念物保存會で保

遺蹟を發見したがこれ獨立派なものは未だ

成立遺跡は、埋蔵文化財としては長野県で初めて「国指定」になった史蹟です。新聞の小見出しにある「飛石」とは「敷石（しきいし）住居」の敷石と考えられます。この敷石住居が長野県で初めて見つかったのが、成立遺跡だったのです。

昭和5年の発掘調査で発見された、成立遺跡の敷石住居は国史蹟指定の「指定の事由」の欄に「本件八類例少キモノニシテ」人類学・考古学上重要な遺跡として評価されたことが記されます。こうして、昭和8年2月28日に成立遺跡は同時に発掘調査された滋野村寺ノ浦遺跡（現小諸市）とともに、重要な史蹟として国の指定になったのでした。

◆【敷石住居】とはどのような住居なのでしょう・・・

床面に、石が敷かれた住居（竪穴建物）を言います。東御市では、確実に確認できるだけで8遺跡19棟の敷石住居が発見されています。東御市内には鉄平石（てっぺいせき）と呼ばれる、平らに節理する輝石安山岩（きせきあんざんが）の採掘できる場所があり、縄文時代から採掘できたと思われ、敷石に多く使われています。手で持つ「柄」の付いた鏡のような、形をしている敷石住居を「柄鏡形（えかがみがた）敷石住居」呼んでいますが、東御市ではこの「柄鏡形」をした敷石住居も多く発見されています。



鉄平石が敷かれた、
東御市の敷石住居



加賀田（かがだ）遺跡（SB12号住居址）： 滋野地区
1992『久保在家遺跡-不動坂遺跡群・前村下り遺跡・古屋敷遺跡
群・加賀田遺跡群緊急発掘調査報告書』東部町教育委員会より

辻田（つじた）遺跡（SB13号住居址）：和（かのう）地区
1995『辻田遺跡 緊急発掘報告書』
東部町教育委員会より

この貴重な敷石住居が、雨や雪で傷んだり破壊されたりしないように、アイヌ民族の住居（チセ）を真似て建てた、遺跡を保護する「保護屋蓋施設」については、東御市文書館通信12号（令和4年2月）でもふれましたが、石器時代（縄文時代）の住居を想像して作った最初の建築物であることでも有名です。ただし、戌立遺跡からは3基の「炉」が発見されていることより、3棟の住居跡が発見されており、それらを覆うかなり大きな建物で、私たちが各地の史跡公園などで目にする縄文復元住居とは異なった形状の建物でした。



この標柱は、現在も変わらずにあります。この位置よりかなり入口部が張り出していたことが、写真からも判ります。



保護屋蓋施設
の礎石

礎石は、今もなお現地に遺され、昭和5年当時の「遺跡を護りたい」という、地元の熱い想いを現代に伝えています。

【会期】令和5年2月1日（水）～3月24日（金）

※2月23日（祝）・3月4日（土）・3月21日（祝）も開館します。

【場所】長野県東御市文書館（北御牧公民館3階）

【内容】・戌立遺跡出土の土器・石器の展示（初公開資料27点）

・戌立遺跡についてのパネル展示。

・戌立遺跡についての滋野村歴史的文書の展示。

【イベント】・3月4日（土）午後1時30分より 於：北御牧公民館2階講堂（予約不要）

・「戌立遺跡・寺ノ浦遺跡～縄文時代の風景～発掘調査の成果より」

・講師：東御市教育委員会 田中浩江学芸員・小諸市教育委員会 高橋陽一学芸員

※発掘調査の成果をもとにした、ロマンあふれる縄文時代のお話をお楽しみください。

